

コミュニティセンターの概要・活動内容

- 首都圏におけるコミュニティセンターaktaの取り組みから -



NPO法人akta 代表
コミュニティセンターakta センター長
荒木順子

はじめに

— 首都圏の背景 —

1. 日本におけるHIV感染者/AIDS患者累積報告数

厚生労働省エイズ動向委員会の平成23年動向年報(2012年 5 月発表)

HIV感染者報告数 13,704件 AIDS発症者報告数 6,272件

日本国籍男性のHIV感染者/AIDS患者新規報告数

新規HIV感染者報告数 923件 新規AIDS患者報告数 419件

うち、男性同性間の性的接触による割合は

新規HIV感染者報告74.3%(686件) 新規AIDS患者報告 60.9%(255件)

2. 東京都における、平成23年新規HIV感染者/AIDS患者報告数

新規HIV感染者報告数 325件 新規AIDS患者報告数 84件

全国の26.7%を占めた。

はじめに

— 首都圏の背景 —

3. 首都圏に居住するMSM人口 成人男性におけるMSM人口割合の推計 4.6%

(厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画・実施・評価の体制整備に関する研究 平成24年度 総括・分担報告書」(印刷中)による推計※1)

東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県におけるMSM人口の推計 676,246名

(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の成人男性人口14701,000名 総務省人口推計(平成23年度10月発表))

都内には、新宿、上野、浅草、新橋、渋谷等にゲイ向け商業施設が密集しており、千葉県、神奈川県、埼玉県等からの流入も多くみられる。

4. 2012年1月、エイズ予防指針が改訂となった。特に個別施策層への対策の更なる重点化、および行政とNGO等の連携した取り組みの重要性等が明記された。

はじめに

— 活動の目的 —

2003年より新宿二丁目において厚生労働省委託事業（公益財団法人エイズ予防財団受託）としてコミュニティセンターaktaを運営。

男性同性愛者等を対象に、HIV感染予防の啓発普及とHIV抗体検査の啓発普及の促進をする。



男性同性愛者等の

- **エイズ発症者の減少**
- **HIV の感染拡大防止**



- コミュニティセンターaktaの運営とコミュニティベースの活動。
- MSM首都圏グループ（NPO法人ふれいす東京とNPO法人akta）による検査普及活動。
- 行政、自治体、NGO/NPO、医療検査、相談、支援、啓発、研究等各関連機関およびコミュニティのキーパーソン、商業施設、メディアとの連携。
- 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究班（研究代表者 市川誠一）との連携による調査・効果評価の実施。

MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営

community center akta



ゲイコミュニティの中から、
ゲイコミュニティに向けて。

- 住所：東京都新宿区新宿2-15-13第2中江ビル301
- アクセス：新宿3丁目駅から徒歩3分（東京メトロ丸ノ内線、副都心線、都営新宿線）
- 開館時間：16:00 – 22:00
- 定休日：毎週月曜日＆毎月第2日曜日
- TEL & FAX：03-3226-8998
- Web：www.akta.jp ■ Eメール：info@akta.jp

- スタッフ：常勤3人、非常勤2人
- ボランティア：49人

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

コミュニティセンターの機能

医療・検査・行政・NGO・支援機関等とのネットワーク

情報提供

“HIV/AIDS のリソースを集約・発信”

予 防

検 査

医 療

制 度

支 援

相談

“オープンスペースで対応。
傾聴し、専門機関につなぎ、情報共有する”

感染不安

HIV告知

感染経路

メンタルヘルス

就労・生活

セクシャリティ

ドラッグ

⋮

HIV/AIDSの 可視化と啓発普及

“コミュニティの情報”

セクシャリティ

ゲイタウン

フリースペース

“コミュニティセンターの周知を図る”

コミュニティとの
ネットワーク構築の契機

展覧会

研修会

講習会

見学・実習

ミーティング

フォーラム

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

来場者数と利用目的

2012年度は4月1日から12月31日までの9ヶ月の期間に**212**日開館。

総来場者数：

6,591人

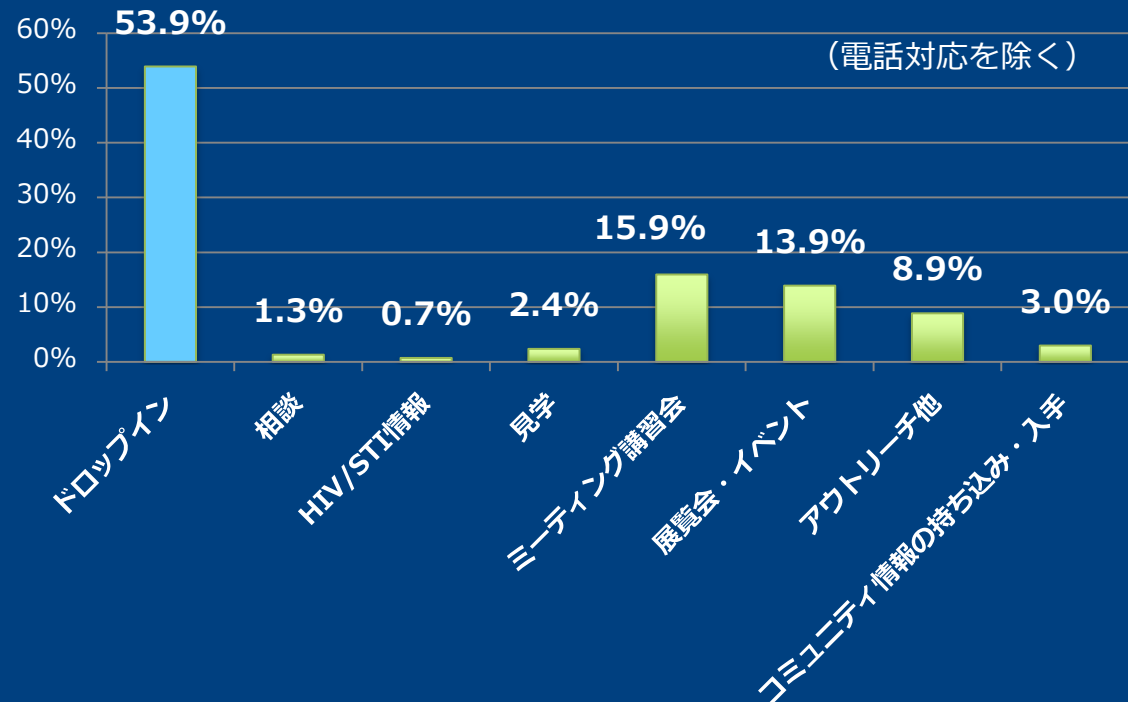
初来場者数：

1,345人
(20.4%)

累計来場者数：

87,088人

2003年9月オープンから
2012年12月31日まで



ドロップイン、講習会やイベントへの参加などの初来場者が、HIV/AIDS情報や相談を目的に再来場、またボランティアによるアウトリーチ活動への参加へつながってゆく。リピーターが初来場者を連れて来場するケースも多くみられる。

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

啓発資材の企画・制作と配布実績

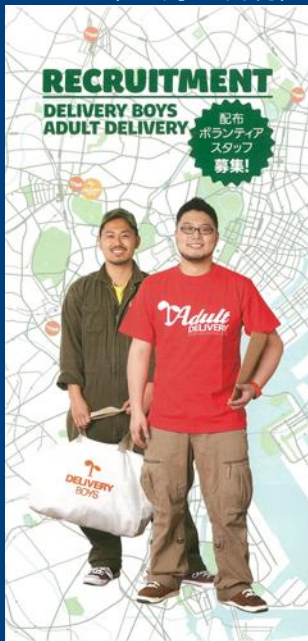
	フリー ペーパー	condom	啓発イベント	勉強会	検査行動の促進	予防行動の促進 キャンペーン	その他
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

DELIVERY BOYS (ボランティア)

ボランティア 49人

※2012年12月31日現在



啓発資材を届けるコミュニケーション活動。
情報を楽しく届けて、街の空気を持ち帰る。



- 毎月 1 回 研修会を実施
 - ・ MSMのエイズ対策
 - ・ HIV/AIDSとリアリティ
 - ・ 性感染症の予防について
 - ・ コミュニティセンターaktaの取り組み
- 東京レインボー祭アウトリーチ
- 年 1 回 デリフェス企画・実施

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

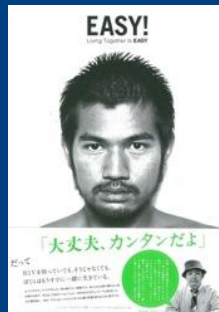
啓発イベントの企画・開催（Living Together 計画）

LIVING♥
TOGETHER

多様性を伴った視点から、「全ての人がHIVとともに生きている」というリアリティーを共有するためのプロジェクト。ぷれいす東京とaktaが呼びかけ団体。



LT in 愛媛



「EASY!」

HIVのリアリティーを
伝える陽性者やその周囲の人達の手記集



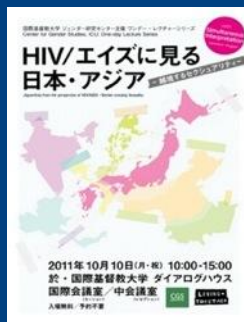
LT Lounge



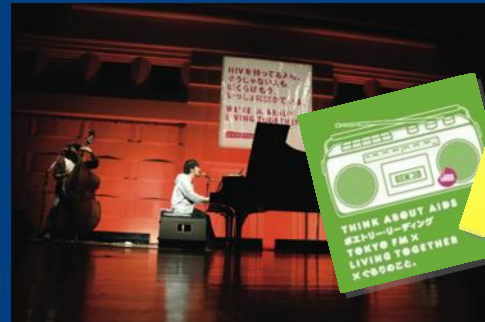
LT のど自慢



LT in 仙台



LT in 国際基督教大学



TOKYO FM "THINK ABOUT AIDS"



LT in モンゴル

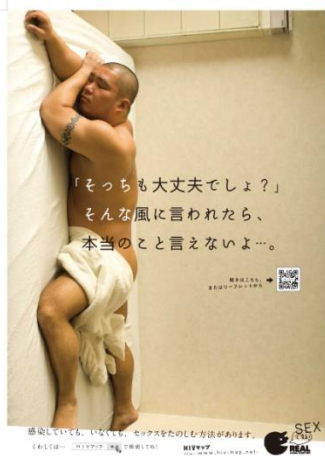
新宿から日本全国へ。メディアとの協働、教育機関、そしてアジアへ。

— エイズ予防のための戦略研究 MSM首都圏グループ —

ぷれいす東京, Rainbow Ring (現 akta), JaNP+, 横浜Cruiseネットワーク (現 SHIP)

2010年度できる!キャンペーン

資材配布期間 2010年6-12月



6-7月
SEXできる!



8-9月
すぐ(受検)できる!



10-11月
相談できる!



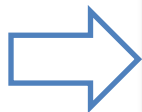
12月
ストップできる!

ゲイバー

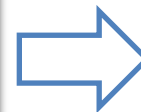
性風俗店

大規模イベント

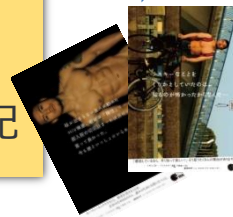
ゲイ向け
ウェブサイト



- MSM対応に準備性のあるHIV検査施設情報
- HIV感染動向の情報と、HIVに関するNGO、行政等のゲイ向けサポートサービス情報
- HIV陽性者・家族
その周囲の人たちの手記



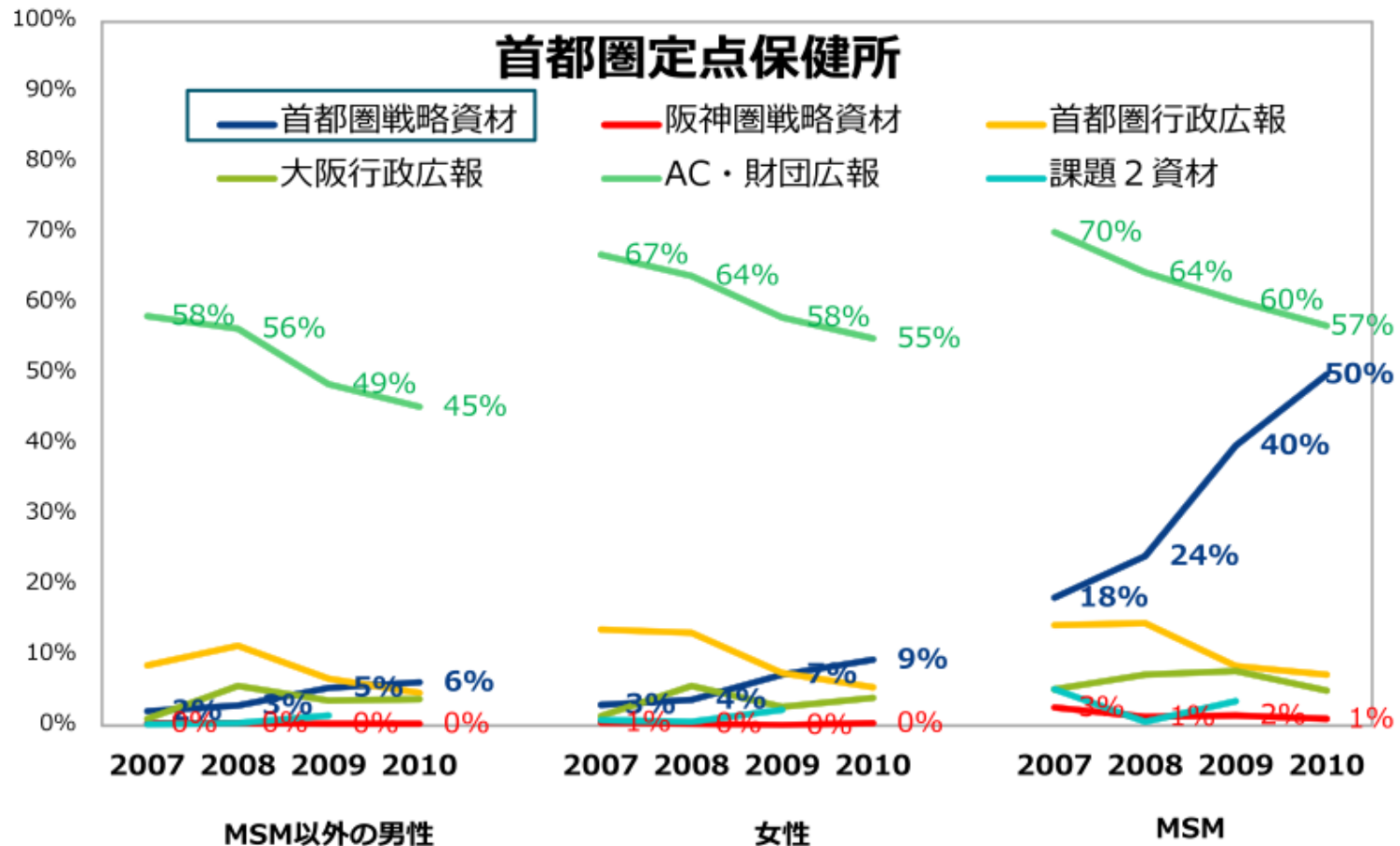
MSM対象の
検査普及に
より、
**早期受検、
エイズ発症予防**



— エイズ予防のための戦略研究 MSM首都圏グループ —

受検者対象アンケート

性別・施設別 広報資材認知割合



・厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画・実施・評価の体制整備に関する研究」[2010]『首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象としたHIV抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究(研究成果報告概要版)』, 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策推進事業)研究成果等普及啓発事業

・公益財団法人エイズ予防財団HP内「エイズ予防のための戦略研究」http://www.jfap.or.jp/strategic_study/htmls/page09_2.html

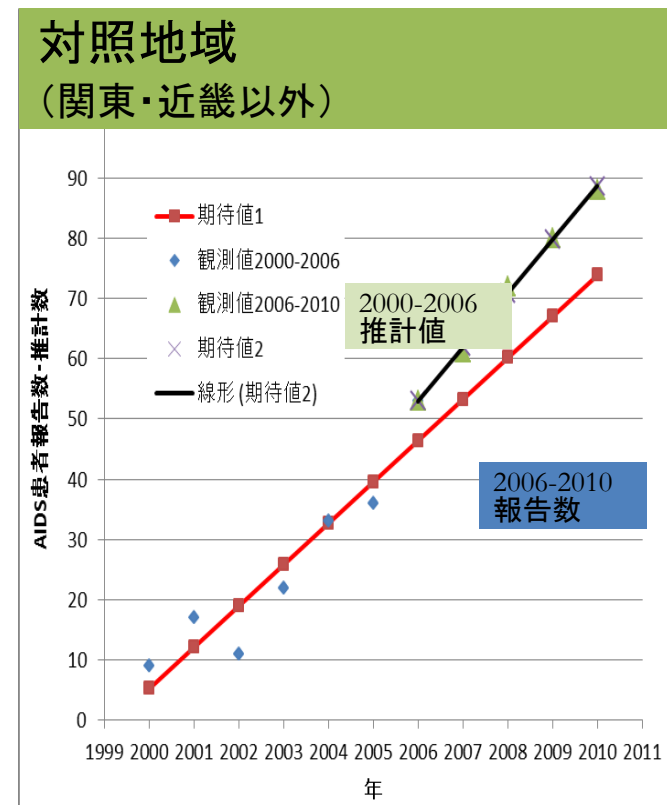
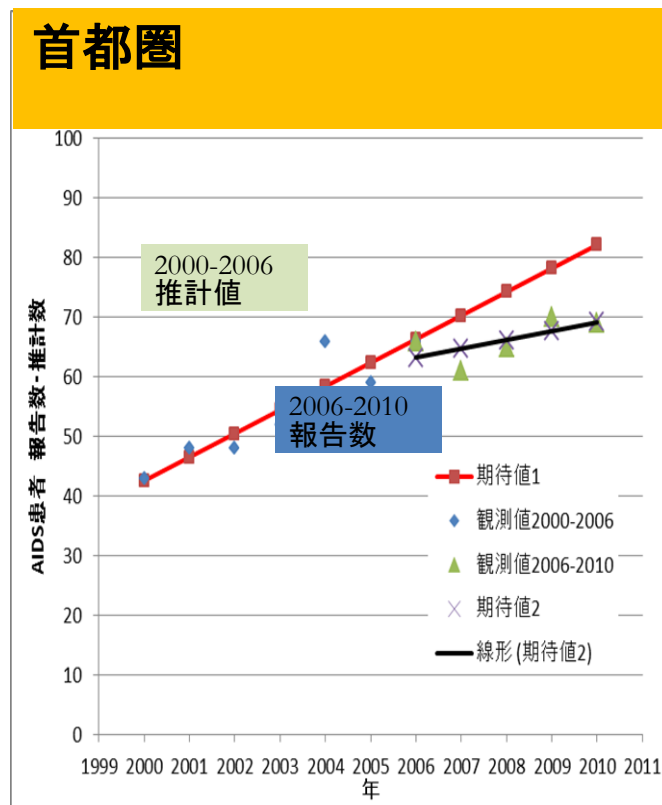
— エイズ予防のための戦略研究 MSM首都圏グループ —

メインアウトカム

受検者における男性同性愛者（MSM）の比率

首都圏82保健所等（アンケート回答総数：88,543）
6.6%(2007)→9.6%(2008)→10.1%(2009)→12.4%(2010)

発生動向からの推計値（最小二乗法）に比し
2010年は**観察値**で対照地域：19.1%増加、**首都圏**：16.1%減少



- 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画・実施・評価の体制整備に関する研究」[2010]『首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象としたHIV抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究(研究成果報告概要版)』, 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策推進事業)研究成果等普及啓発事業
- 公益財団法人エイズ予防財団HP内「エイズ予防のための戦略研究」http://www.ifap.or.jp/strategic_study/htmls/page09_2.html

— MSM向け検査普及体制の構築と継続 —

— 検査環境の整備と検査行動の促進 —

◎戦略研究終了後、2011年4月からの取り組み

MSM首都圏グループ（NPO法人ふれいす東京＋NPO法人akta）＆厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究班（研究代表者 市川誠一）

MSM対象HIV検査普及啓発・広報

- HIV検査普及のための資料の企画・制作
- 首都圏地域のゲイ向け商業施設へのアウトリーチ



効果評価（厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究班（研究代表者 市川誠一）との連携による調査・効果評価の実施。）

- M S Mにおける啓発活動の広がり把握するコミュニティでの質問紙調査
- M S Mの受検促進に協力する保健所での受検者アンケート



検査環境整備および相談支援整備

- エイズ対策事業に関する意見交換会の開催
- 都県とMSM首都圏グループで実施するMSM対応検査従事者に向けた研修会の実施
- 通常検査・臨時検査検査情報収集
- 支援・相談情報提供 webサイトHIVマップ

HIVマップ



— MSM向け検査普及体制の構築と継続 —

保健師（HIV検査担当者）研修会

東京都

東京都福祉保健局
健康安全室感染症対策課
エイズ対策係

- 日付：2012年7月20日
- 会場：都庁第一庁舎

●参加人数：**29人**

神奈川県

神奈川県保健福祉局
健康医療部健康危機管理課
感染対策グループ

- 日付：2012年11月7日
- 会場：横浜市開港記念会館

●参加人数：**17人**

千葉県

千葉県保健福祉部
疾病対策課
感染対策室

- 日付：2012年10月19日
- 会場：市川健康福祉センター

●参加人数：**13人**

埼玉県

埼玉県保健医療部
疾病対策課
感染対策担当

- 日付：2012年9月14日
- 会場：埼玉県浦和合同庁舎

●参加人数：**19人**

●プログラム（コーディネート：生島 嗣／NPO法人ふれいす東京）

- ① 開催都県のHIV/エイズ対策
- ② アイスブレイク
- ③ 手記リーディング
- ④ セクシャリティへの理解と求められる配慮
- ⑤ MSMを対象にした研究結果・成果などから報告
- ⑥ 検査環境の取り組み事例の紹介と意見交換
- ⑦ セクシャリティに配慮した 模擬対応
- ⑧ 相談・支援に役立つリソース紹介/akta見学

●アンケート（神奈川県）

- ・ 性的な話題への抵抗感 → 研修を通して、性的な話題への抵抗感を感じる人が少なくなった。
- ・ 身近にMSMがいるという意識 → 研修を通して、身近にMSMがいる意識が高まる傾向が見られた。
- ・ HIV陽性者の相談も他の相談者同様に対応できるか → 研修を通して、対応する自信をつけた人が増えた。



MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられるようにする。

— MSM向け検査普及体制の構築と継続 —

啓発資材の施設掲載基準

◎ 検査施設ガイドライン

1. 都県とMSM首都圏グループで実施するMSM対応検査従事者に向けた研修会への参加
2. エイズ対策・HIV検査普及に関する意見交換会への参加
3. 施設でのMSM首都圏グループの資材活用
4. 検査結果(陽性/陰性)の伝え方の確認

◎ 掲載施設数(2012年11月発行分)

- | | |
|--------|------|
| - 東京都 | 18施設 |
| - 神奈川県 | 20施設 |
| - 千葉県 | 8施設 |
| - 埼玉県 | 10施設 |

※ウェブサイトHIVマップ「あんしん検査サーチ」もこれに準ずる。

◎ 商業施設掲載ガイドライン

1. 『ヤローページ』等、HIVや性の健康に関する情報グッズの設置に協力する。
2. MSM首都圏グループが企画・編集する『ヤローページ』への、店舗情報の掲載を希望する。
3. 違法・脱法ドラッグの利用を禁止している。
4. 違法・脱法ドラッグの販売を行っていない。

◎ 掲載店舗数(2012年11月発行分)

地域：新宿、上野、浅草、新橋、渋谷、横浜、千葉、さいたまなど

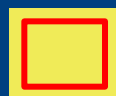
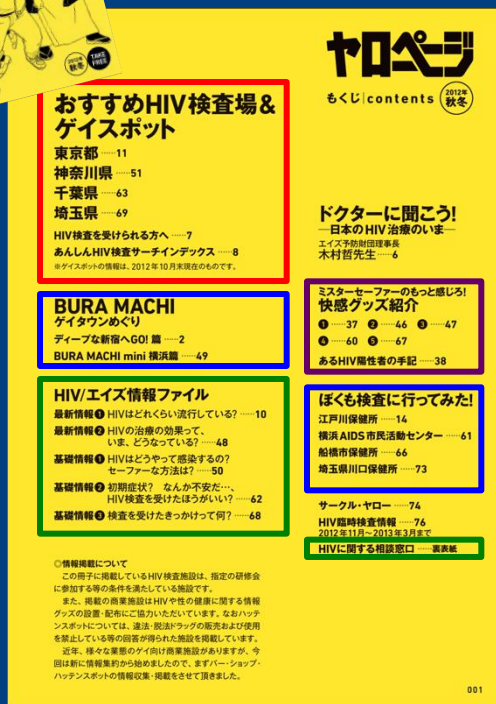
- | | |
|---------|-------|
| 1. バー | 244店舗 |
| 2. 性風俗店 | 23店舗 |

2011年度は出版社から店舗情報を購入し掲載。

2012年度はコミュニティセンターのネットワークを活かし、店舗情報を直接収集・掲載。

— MSM向け検査普及体制の構築と継続 —

HIV検査普及のための冊子の企画・制作



地域情報

HIV検査施設
MSM向け商業施設



訪問記

HIV検査施設
MSM向け商業施設



HIV/エイズの基礎・最新情報
HIV/エイズ関連の支援情報



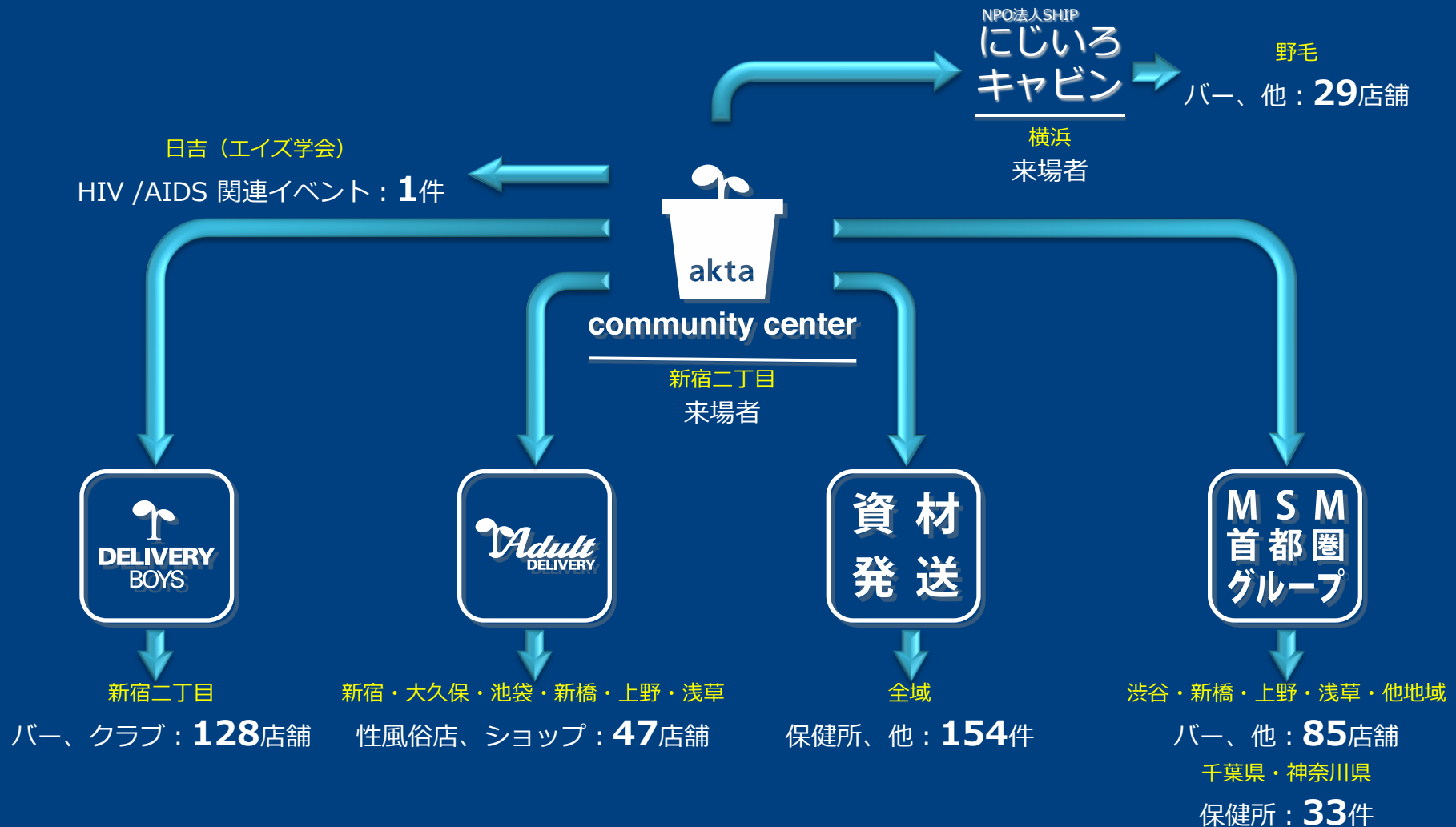
セーフターセックス情報

ヤローページ＝ゲイスポット情報＋HIV検査施設情報（基礎情報含む）

保健所などでの臨時検査が集中する6月・12月にあわせて、MSM層に訴求力のある検査情報資材を作成し、HIV検査のイメージを一新する事で、ゲイライフの中に受検行動を位置づける。

— MSM向け検査普及体制の構築と継続 —

首都圏全域へのアウトリーチ



477ヶ所へのアウトリーチ、コミュニティセンターと477ヶ所からの発信

— NPO法人aktaと自治体との連携 —

東京都福祉保健局

東京都福祉保健局委託事業

2011年8月20日



8/25-30、韓国釜山で開かれたアジア・太平洋地域のエイズ／HIV会議に出席した方達をお招きして、日本の状況を解決するための様々なヒントを、コミュニティのみなさんと探る。

講師：
長谷川博史 / NPO法人JaNP+
じゅんぺい / NPO法人JaNP+
柴田恵 / 非営利団体akta
岩橋恒太 / NPO法人がれいす東京

来場者数：**27人**

Vol. 1
2011年11月23日



HIVと、
ドラッグのこと

講師：
生島嗣 / NPO法人がれいす東京
森野嘉郎 / 弁護士
中山まさひろ / アパリクリニック

来場者数：**42人**

Vol. 2
2012年2月18日



HIVと、
メンタルヘルスのこと

講師：
平田俊明 / しらかば診療所
矢島嵩 / NPO法人がれいす東京

来場者数：**39人**

Vol. 3
2012年3月30日



HIVと、
人とのつながり

講師：
小林りょう子 / NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会
佐藤郁夫 / NPO法人JaNP+、NPO法人がれいす東京

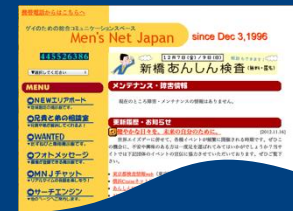
来場者数：**45人**

コミュニティと、HIV／エイズに関する問題を共に考える。

— NPO法人aktaと自治体との連携 —

港区みなと保健所

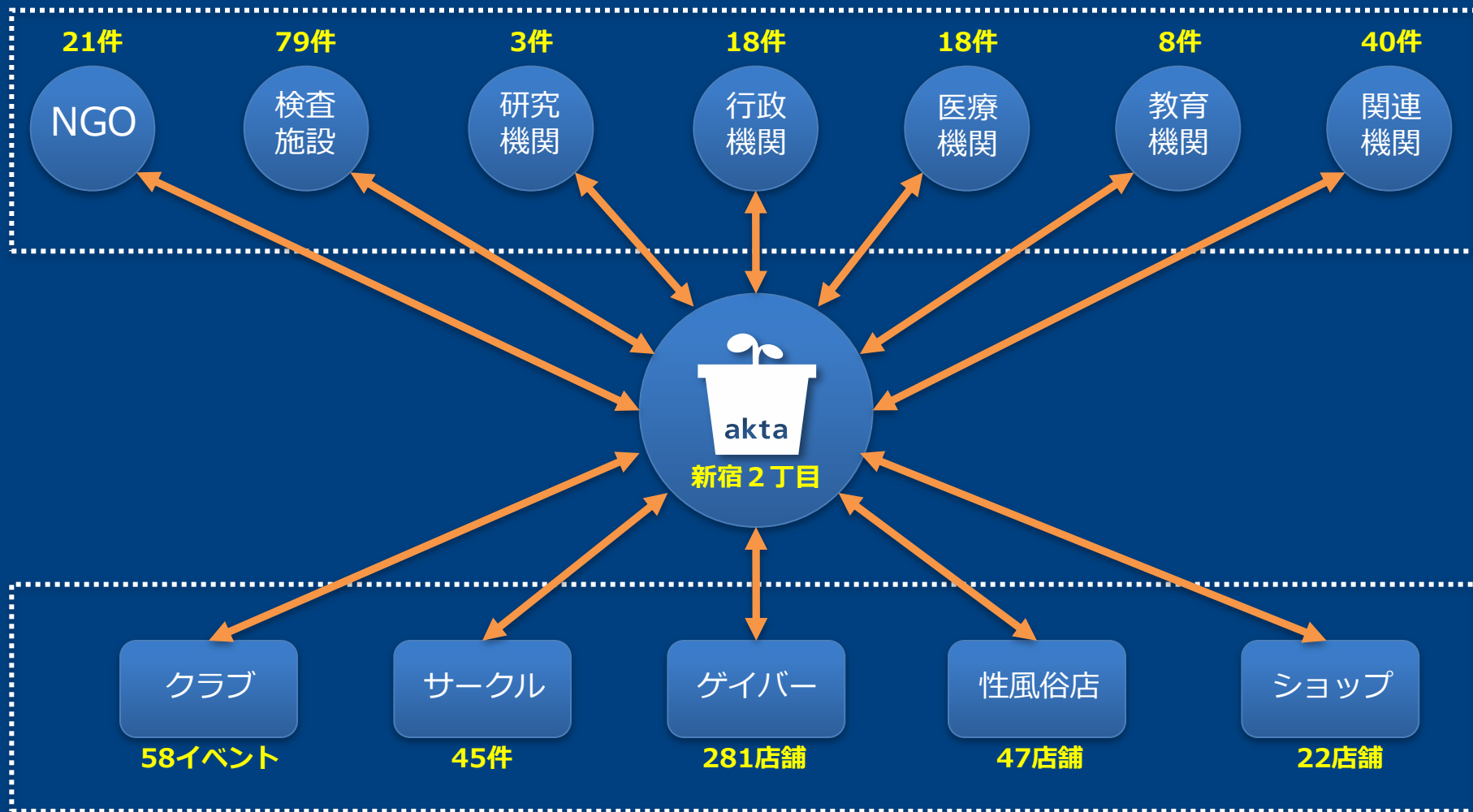
- **AIチェック** フライヤー制作
- **世界エイスデー新橋街頭キャンペーン** アドバイス、資材提供
- **新橋あんしん即日検査** フライヤー制作、広報戦略、配布協力
首都圏MSMグループと連携→多摩川病院を紹介
フライヤーにHIVマップ、ぷれいす東京電話相談、センターakta情報を掲載
-地域性を活かし意識的にゲイと表記せずに、MSM層へ確実に届ける。
 - ・ 12月7日（金曜日／夜間）受検者48名、20代～30代中心。MSM8割。
 - ・ 12月9日（日曜日／昼間）受検者36名、40歳前後が中心。MSMが9割。
フライヤー持参者とゲイ向け出会い系サイトのバナーで知った層があり、口コミとネット両面の広報が受検者増加につながった。開催時期を検討しながら継続の予定。



コミュニティセンターaktaとは？

MSMを対象とする啓発普及の基点（ハブ）

HIV関連機関との連携



ゲイコミュニティとの連携

ー おわりに ー

結 語 ・ 提 言

コミュニティセンター aktaは、

- 存在そのものが、街や社会におけるHIV/エイズを可視化するものになっている。
- 来場する契機をつくることで、常に新規来場者を巻き込み予防啓発の普及を行う。
- センターが街の中にあり続ける事がコミュニティとの連携を作り出し、維持しているとともに、自治体や医療機関等との連携を促進している。

センターがある事で、**エイズ対策のための常に新しいネットワークを構築できる、**
センターがある事で、**MSMに訴求性のある啓発資材を開発できる、**
センターがある事で、**定期的に啓発資材を必要な層に届ける事ができる、**

- コミュニティセンターaktaには、国内だけではなくモンゴル、台湾、中国、シンガポール、イギリスをはじめ世界各国から見学があり、MSMを対象とした啓発拠点事業のモデルとなっている。
- オーストラリアでは一旦感染の増大がおさまり、予算を削減した。それにより、MSMのHIV感染およびエイズ発症者数が増加した。その動向を受け、あらためてMSMを対象とするHIV感染対策に予算が投入されたケース(※)もある。 ※Koerner Jane et al.[2007] 「MSMに対するエイズ政策の国際比較研究ーオーストラリアのMSMへのエイズ政策と実行」, 『厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業男性同性間のHIV感染対策とその評価に関する研究ー平成18年度 総括・分担研究報告書ー』
- MSMのエイズ対策はその他の個別施策層への対策へも応用が可能である。

－ おわりに －

課 題

- 現在、MSMの若年層での感染増加と40代以上での発症増加がおこっている。
- 首都圏では戦略研究において成果を収めた事で、その後事業が拡充された。しかし、年々エイズ対策にかけられる予算は削減されており、行政・自治体・NGO/NPO等が連携して進めていく事がますます必要となっている。
- 活動において、東京都福祉保健局、新宿区保健所、港区みなと保健所、東京都立精神福祉センター、都立高校等とも連携して啓発プロジェクトを企画・実施している。しかし、こうした取り組みも全て本拠点事業および、その社会資源（施設、スタッフ）がベースにある事で実施する事が可能となっている。

— おわりに —

— 2012年6月1日 NPO法人akta 設立 —

aktaはアジア最大といわれる300軒を越えるゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目にあります。多様なセクシャリティの人たちが集うコミュニティの中から、コミュニティの人たちへ。そして、コミュニティをとりまく社会へ。

すべての人がもうすでにHIVとともに生きているという視点のもと、HIVへの感染機会のある人びととHIV陽性者に向けて、予防啓発と支援の両面の重要性を踏まえた活動を行っています。

多様なセクシャリティとセクシャルヘルスの認知と理解をはかり、偏見や差別の無い、だれもが自分らしく暮らせる街になることを願っています。